

平成18年4月20日  
国土交通省中部地方整備局  
富士砂防事務所

## お知らせ

1. 件 名 18年度 富士砂防事務所事業説明会の開催について
2. 概 要 平成18年度予算成立に伴う富士砂防事務所の事業計画及び広報計画などについて計画概要の説明及び現地説明会を開催いたします。
3. 開催日時 平成18年4月27日（木曜日）  
計画概要説明／13：00～14：00  
現地説明会／14：05～15：30（ご希望される方のみ）
4. 開催場所 計画概要説明／富士砂防事務所 大会議室（富士宮市三園平1100）  
現地説明会／大沢扇状地（富士宮市上井出地先）
5. 資 料 別紙のとおり
6. 解 禁 指定なし
7. 取 材 来場の際は、身分証明書と腕章を持参の上、事務所受付までお越し下さい。尚現地見学会はご希望される方のみとしますが、砂防事務所の車両にてご案内しますので、出欠の連絡を4月25日までにお願いします。
8. 配布先 富士宮市記者クラブ 富士市記者クラブ  
建通新聞 庵原新聞
9. 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所  
副所長 奥田 譲  
TEL 0544（27）5221（代）  
FAX 0544（27）8759

国土交通省 富士砂防事務所

奥田 副所長 宛

FAX 0544 (27) 8759

18年度 富士砂防事務所事業説明会への出欠について

計画概要説明／	出席	欠席
---------	----	----

現地説明会／	出席	欠席
--------	----	----

1. ご芳名

2. 所属

3. 所属住所連絡先

※ お手数ですが参加されない場合も連絡先確認のため

ご返信願います。

# 1. 事務所の概要

## 1-1 事務所のあゆみ

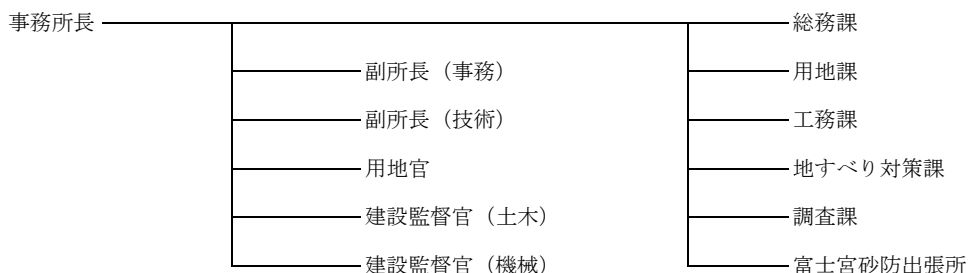
大沢崩れは富士山西斜面に位置し、（所在地：静岡県富士宮市、山梨県南都留郡鳴沢村）富士山頂（3,776m）直下より標高2,200m付近までの長さ2.1km・最大幅500m・深さ150mにおよぶ大崩壊地であり、集中豪雨や融雪出水により土石流の発生源となり、下流にたびたび大きな災害をもたらしてきました。

昭和42年、山梨県知事の「富士山の山崩れがひどくその麗姿も変わりつつある」との発言が国会でとりあげられ、この年に建設省は学識経験者からなる「大沢崩れ対策懇談会」を設置し、協議を重ね、まず下流土砂災害防止に対して早期に結果が期待できる扇状地対策を優先させることとして、昭和44年度に富士宮砂防出張所を設置し直轄砂防事業に着手しました。昭和45年度には富士砂防工事事務所が発足し、昭和57年度には大沢崩れ源頭域対策のための調査工事に着手しました。さらに昭和58年度には、過去多くの災害を受けてきた富士山の南西野溪（猪の窪川・弓沢川・足取川・風祭川、以上富士宮市、凡夫川・赤淵川・須津川、以上富士市）にも着手しました。

平成14年度からは、富士山が有史以降定期的に活動している活火山であり、ひとたび噴火活動を起こした場合、広範囲に甚大な影響を及ぼすことが想定されることを鑑み、活火山富士山の噴火対策に関する調査・検討を実施しています。

また、静岡県庵原郡由比町には日本の大動脈（東名高速道路・国道1号・JR東海道本線等）が集中しており、豪雨や東海地震等により、地すべりが発生する恐れがあることから、平成16年度に当該地区の地すべり地域の実態等を把握するための調査を開始し、平成17年度より地すべり対策事業に着手しています。

## 1-2 事務所の組織



## 1-3 事務所の職員数

国土交通事務官 14人  
 国土交通技官 21人  
 併任（3人）を含む

# 2. 平成18年度事業費

（単位：千円）

項目	平成18年度	平成17年度	対前年比
直轄砂防事業費	2,760,000	2,715,000(当初) 2,715,000(最終)	1.02
直轄地すべり対策事業費	970,000	800,000(当初) 1,000,000(最終)	1.21
砂防事業調査費	16,470	19,770(当初) 19,770(最終)	0.83
砂防事業費計	3,746,470	3,534,770(当初) 3,734,770(最終)	1.06

### 3. 事業概要

#### 3-1 砂防事業

##### 1) 潤井川

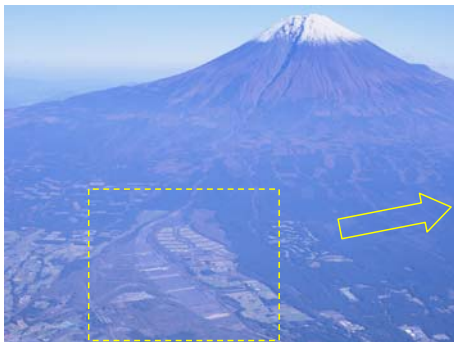
##### ①大沢川

潤井川の支川である大沢川源頭部の大沢崩れは、富士山の西斜面に位置する日本有数の大崩壊地であり、集中豪雨や融雪出水により土石流の発生源となり、下流域にたびたび大きな災害をもたらしてきました。昭和44年より直轄砂防事業として対策に着手していますが、大沢崩れから生産・流出する土砂を直接止めることは、現段階では困難であり、当面は大沢扇状地で土砂流出抑制を目的とする遊砂地を整備することとし、床固工・流路工・導流堤・樹林帯・樹林帯補強工・溪岸工等を施工してきました。大沢川では、近年においても平成9年（2度の土石流で約40万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>）、平成12年（約28万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>）、平成16年（約11万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>）と数年ごとに大規模な土石流が発生するなど災害危険度が非常に高く、また計画規模（150万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>）の土石流が発生した場合には、一部が下流流路へ流出する可能性が高いことが最新の数値シミュレーションで予測されているため、平成14年度より新たに中間床固工に着手し、遊砂地機能の拡充を図っています。

平成18年度は、引き続き中間床固工の整備を進めると共に、富士山麓の豊かな自然環境を保全し地域社会に寄与することを目的とした樹林帯整備を行います。また土石流発生源対策として昭和57年から実施している大沢崩れ源頭域調査工事を継続して実施します。

##### 平成18年度事業

工事名	計 画 内 容
樹林帯整備	間伐工1式
中間床固工	第6上流床固工L=350m 第8上流床固工L=250m
源頭域調査工事	斜面对策工A=2,000m <sup>2</sup> 渓床対策工V=70m <sup>3</sup>



大沢扇状地砂防施設

##### ②猪の窪川、足取川、風祭川、弓沢川、凡夫川

潤井川の支川である足取川、風祭川、弓沢川、凡夫川、芝川の支川である猪の窪川では、昭和54年の台風20号による災害が契機となり、昭和58年より直轄砂防事業に着手しています。これら支川の源頭部は富士山頂付近にまで達しており、火山噴出物が地表面に広く堆積しているため土砂生産が活発であり、大雨や融雪、スラッシュ雪崩などに伴い土石流が頻繁に発生するため、砂防えん堤、沈砂地工等による土砂流出対策、溪流保全工による下流部河川の安定化対策を実施しています。現在までに砂防えん堤24基、沈砂地工4箇所、溪流保全工2箇所、流路工2箇所が完成しており、今後も更に整備の促進を図り、再度災害の防止に努めます。

平成18年度は、猪の窪沢溪流保全工と猪の窪川支川栗ノ木沢のえん堤補強工を継続するとともに、足取川支川大久保沢で沈砂地工に着手します。また、凡夫川において凡夫沈砂地工の用地取得を実施します。

##### 平成18年度事業

工事名	計 画 内 容
猪の窪沢溪流保全工	護岸工L=140m 帯工1基
大久保沈砂地工	基幹えん堤工1基 仮設道路工1式
砂防えん堤補強工	えん堤補強1式
凡夫沈砂地工	用地補償費1式

2) 沼川

沼川の支川である滝川、赤淵川（千束川）、須津川、江尾江川、春山川、小潤井川の支川である伝法沢川では、潤井川の支川と同じく昭和54年の台風20号による災害を契機とし、潤井川支川の直轄砂防事業に続いて平成4年から事業に着手しています。沼川の支川は主に富士山愛鷹山系を水源としており、富士山と同様に土砂生産が活発です。このため砂防えん堤による整備を主体に、土砂流出対策を実施しています。現在までに砂防えん堤6基が完成しており、今後も更に整備の促進を図り、再度災害の防止に努めます。

平成18年度は、須津川において須津第5砂防えん堤工を施行します。また千束第2えん堤工群の用地取得を実施します。

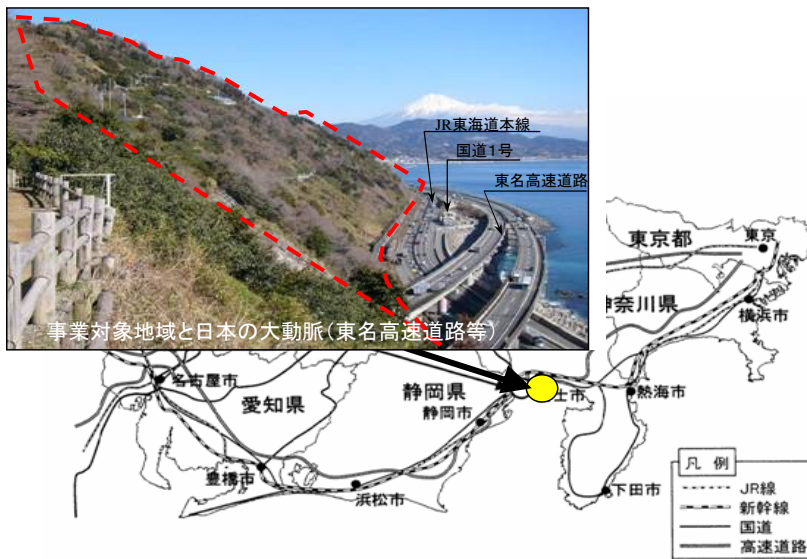
平成18年度事業

工事名	計 画 内 容
須津第5砂防えん堤	砂防えん堤工1基 付替道路工1式
千束第2えん堤工群	用地補償費1式

3-2 地すべり対策事業

1) 目的

日本の大動脈（東名高速道路・国道1号・JR東海道本線等）が集中している静岡県庵原郡由比町において、豪雨や東海地震等により大規模な地すべりが発生する恐れがあることから、平成17年に当該地区の直轄地すべり対策事業に着手しています。平成18年度は工事用道路の整備と、大久保地区において抑制工に着手します



平成18年度事業

工事名	計 画 内 容
大久保抑制工	集水井1基
工事用道路	工事用道路L=260m

3-3 火山砂防調査

富士山は、有史以降定期的に活動している活火山であり、噴火が発生した場合、周囲への甚大な影響が予測されています。このため富士砂防事務所では、富士山の火山活動による土砂災害防止の為の調査に取り組んでいます。

## 平成18年度 富士砂防広報活動予定表

イベントなどの内容	実施予定日	場 所	見 学 者 等	備 考
砂防フェスティバルinしずおか	2006年6月4日	静岡市青葉通り	一般者	
富士川楽座パネル展	2006年6月中	富士川楽座	一般者	
地域イベントへの出展 富士山火山防災ウィーク	2006年6月下旬 2006年7月上旬	山梨県環境科学研究所	一般者	
地域イベントへの出展 かりがね祭り	2006年10月上旬	富士川河川敷かりがね堤	子供～一般者	
地域イベントへの出展 青年の家フェスティバル	2006年10月中旬	御殿場国立中央青少年交流の家	子供～一般者	
地域イベントへの出展 サイエンスワールド	2006年10月中旬	未 定	小中学生	
地すべりフォーラム	2007年1月18.19日	由比町民センター	一般者	
富士山への手紙絵コンクール表彰式	2007年2月上旬	富士宮市民文化会館	子供～一般者	